

寄稿

「多彩な『力』を感じた夏」

小田原市長 加藤 憲一

酷暑続きでしたが、実に多くの皆さんが多彩な活動を展開、心強く感じた夏でした。

市生徒たちが共に平和を祈念。海を越えた平和への絆が強められました。

平和関連では、戦後70年の節目にあたり市内中学校11校からの代表生徒22名が広島を訪問、8月6日の平和記念式典に参列。また同日、友好都市マンリーでの中高生交流事業で、両

経済分野では、水産分野での状況を集めた「みなとまつり」や、森林・林業・木材産業分野の連携による「きまつり」などが、それぞれ関係諸団体の活躍によって賑やかに開催。

街なかでは、商店街と生産者らが工夫を重ねてきた「軽トラ市」も10回を数え、街なか活性化に大きく貢献。また、ダイヤ街では商店街の魅力向上へ緑化事業が進展。

街の担い手育成では、マザーズ上場の市内企業Hamee(株)と市の「まちづくり学校」の連携企画「ハミダセ」も回を重ね裾野が広がっています。

諸団体の連携が進む各地域では、各種行事などが年々活発化。富水や桜井地区等では、小学校校庭を会場に盛大な納涼祭。片浦地区の伝統芸能「鹿島踊り」



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力  
(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F

TEL.0465-21-5260

(月・水・金 10:00~17:00)

http://www.katoken.info

では、小規模特認校の児童参加が増え賑やかに。久野地区では「野遊び探検」や「蕎麦作り」の企画が益々充実。他にも紹介しきれない活動がたくさん。こうした民間分野の活動と、担い手の成長・拡大こそ、未来を拓く原動力。今後もしっかりと連携して歩みます。